

かかりつけ医と人生会議

本日から感染症予防のためのマスクの着用が義務化されなくなります。まだコロナ感染の危険がなくなったわけではないので医療関係者にとってマスクは必要と考えられていますが、公共の場ではマスクをしない人が増えていくものと予想されます。

ところで3月19日(日)に県医師会の主催で静岡のグランシップで「泣いて笑って人生会議」という県民セミナーがあり、そこで20分間「かかりつけ医と人生会議について」の講演をすることになりました。人生会議とは簡単に言えば人生のしまい方を本人家族を含め医療者を交えて話し合うという意味ですが、かかりつけ医が人生の最終段階でどこまで患者さんに寄り添うことができるかを自分自身の経験をもとに話す予定です。現実的には自宅で最期まで過ごすのは難しくなっていますが、誰もが本心を言えばできる限り自宅にいたいと思っています。ケアマネや訪問看護を通じてやってきた在宅医療のことも交え話しをしてくる予定です。

